

「交通安全」中和倉

いきいき舎の通所が今年で6事業所となり、送迎時間には、30台近くの送迎車が松戸市内を走行している事になります。中には1日3回送迎がある事業所もあります。従って、他事業所の送迎車を見かけるのは、日常茶飯事です。ご夫婦のご利用者様宅に、2事業所の送迎車が迎えに行くなんて事もあります。他事業所の送迎車とすれ違った際には、この世のお別れか?といわんばかりに手を振ってくれるスタッフもいます。さて私が気になるのは、送迎車が増えると自ずと事故の確率が上がるという事です。皆さんの中で安全運転というのは、どのようなものでしょうか?交通ルールを守るのは大前提として、私は、ご利用者様に恐怖を与えない運転こそが真の安全運転だと考えます。急ブレーキ、急発進を避け、カーブ手前や右左折前は、十分に速度を落とす。停止して降りる際には、パーキングにギアをいれたかの確認。目の不自由な方が同乗されている際には、前もって曲がる方向や、止まるタイミングを伝える等、この人の運転は任せられると安心してもらえる事が大切だと思います。当然ながら、ご利用者様は、ハンドルを握ってコントロールする事はできません。我々に置き換えると、飛行機に乗って恐怖を感じているのに似ているのではないのでしょうか?ご利用者様にあの人の運転は怖いと少しでも、言われた事がある人は真摯に自分の運転を改める必要があります。全職員がプライベートも含め、安全に無事故で運転される事を願っています。(古賀)



「避難訓練」松戸二十世紀

今月16日に松戸二十世紀では初めての避難訓練を行いました。ここ数年のニュースで自然災害による福祉施設の避難問題など私達にも関わる話を耳にします。当日雨が降っておりましたが、ご利用者様了承の上雨の中実施させて頂きました。今回傘は使用せず(転倒・二次被害を出さない為)にご利用者様にはバスタオルを被って頂き、職員・ご利用者様が悪天候の中でも安全に逃げ、施設から数十メートル離れた送迎車に乗り込むまでを行いました。職員がバケツリレー式でご利用者様を受け渡ししながら安全に行う事は出来ましたが、慣れない天候・ご利用者様へ事前の言葉かけ・時間のロスなど連携の薄さが反省部分として残りました。いざというときに的確で迅速な判断に基づき行動することは困難です。実際の危機的状況を何度も経験することができない以上、日頃から一人でも多くの職員が、訓練を通して状況に応じた判断力・行動力を養っておくことが極めて重要だと感じました。(本澤)



PT 報告

あなたにとって素敵な相棒

みなさんは一本杖を使ったことがありますか?よく杖に関して耳にするのが「杖をつく歳をとった感じがする」「まだまだ歳をとったと思われたくない」といったお声です。確かに昔は茶色く地味な杖で歳をとった人が持つというイメージが強かったかもしれませんが。しかし最近は老若男女問わず、街中で杖を使用している方もたくさんみかけます。杖の主な役割としては足への負担の軽減と転倒予防の他、私は印籠代わりとしての役割も大きいと思っています。公道やバスなどで周りの人に気づいてもらい、道や席を空けてもらう。そして移動面に体力を費やすのではなく、その後の楽しみに力を注いでほしいのです。最近は可愛いものから漆塗りのようなものまで種類が豊富に揃っていますので、帽子と同じようにお洒落感覚で杖を持つことを楽しんでください。もちろん値段もそれぞれですが(笑)。(横山)



「希望に向けてのリハビリ」常盤平

「リハビリ」と聞いてみなさんはどのようなイメージを抱かれますか?テレビでよくある描かれ方として、「怪我や病気により身体にダメージを受け、懸命にリハビリをして、(誰かにしてもらい?)また元通りの身体になる」このようなイメージではありませんか?いきいき舎では、ご利用者お一人お一人の身体の状態やご自宅の環境等に應じ、「こうなりたい!」を叶えるべく、リハビリの計画を立て、共にリハビリに臨む姿勢を大切にしています。常盤平に通われているH様は、脳梗塞の後遺症により左麻痺があります。「以前通っていたジムに通いたい。」という目標に向け、駅からジムまで歩く想定で足踏みの機器を10分以上行っています。また、運動時のご自身の体調を把握するというのもデイでの1日を通じて行なっています。その積み重ねを経て、外出リハビリで目標であるスポーツジムまでスタッフと一緒にいくことができました。実際に通ってらっしゃったジムに行くことができ、ますます日々のリハビリに励まれています。リハビリを継続して行うことで、今まで出来なかった事が出来るようになる事を日常生活でご本人に実感して頂き、さらに幅が広がることで目標に近づいていきます。生活の質を向上していく事で新たな目標や希望が生まれるかもしれません。季節は秋から冬へと移り変わりの時期でもありますので、皆様体調にお気を付け下さい。(今井)



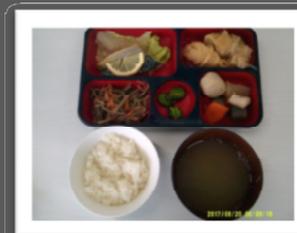
「ストレッチボールの効果」牧の原

牧の原では、ストレッチボールの運動を取り入れています。その効果について話したいと思います。①ボールに乗ることで不安定になりバランスを取ろうとするのでバランス力を鍛える。②左右対称にバランスを取ることで身体のゆがみを修正する。③猫背の改善にもなり肩こり、首のこりの軽減。④寝ているだけでリラックス効果があり全身の緊張が解け疲労回復。このように一石二鳥以上の効果があります。対象者によっては効果がある人とない人がいるので、試してみたい方はリハビリスタッフに相談してみましょう。(篠原)

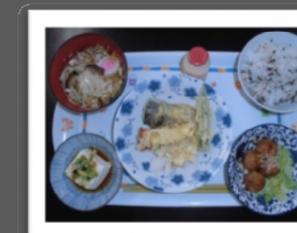


自立支援ランチ MENU (11:00~12:30)

松戸二十世紀



中和倉



常盤平



北小金



牧の原・松戸新田職員ランチ



◆昼食(有)・常盤平 ・中和倉 ・北小金 ・松戸二十世紀
◇昼食(無)・牧の原 ・松戸新田 ※お食事と入浴サービスはございません。予めご了承下さい。

職員紹介

今月は“北小金”の
“花井優太”を紹介いたします。

Q1 出身地は？

A：千葉県船橋市

Q2 趣味は？

A：サッカー・野球観戦

Q3最後の晚餐？

A：牛タンとネギトロ丼

Q4 最近の喜怒哀楽は？

喜 ご利用者様から「今日も一日楽しかったよ。」と言ってくれた時。

怒 痩せなくてはと思いながらも食べ過ぎてしまう自分。

哀 ゲームのデータを保存しようとした際に停電になった事。

楽 好きなサッカー・野球チームが勝った時、好きな歌手のライブを見に行くとき。



自立支援の取り組み

牧の原ではデイ到着→靴を下駄箱に入れる→上着を掛ける→荷物をしまふ→書庫から「ア行～ワ行」順に並んである箇所から自分の名前を探しケースファイルを取る→血圧・体温を自分で計測し記入。終了時→実施内容項目にチェック→職員に確認印を押しもらう→書庫にしまふという一連の流れがあります。この過程には全て日常生活に繋がる動作が含まれています。屈む動作は物を拾う・掃除機をかけるなど。定位置に置く動作は身の回りの整理整頓。荷物の出し入れは食器棚など扉の開け閉め。上着を掛ける動作は洗濯物を干す。計測は体調を把握する自己管理。一連の流れは料理などの段取りなど沢山の繋がりがあつたのです。ご利用者様からは「自分で出来る事は自分でやる事が一番大事ね」とのお声を頂いております。(辻浦)

様々な取り組み

以前、特技を生かしてリハビリのための服を作って下さった方をご紹介しました。その後も、ご利用されている方々よりアイデアや作品を持ち寄って下さる方をご紹介します。

まず、玄関先に新しく「松戸新田」というステッカーが出来ました。これはご利用中のY様が以前行っていた仕事の道具を使い、製作して下さいました。表通りにあるステッカーを見て、同じフォント、色合いの物を作ったとのことで、「プロの技ですね！」と職員は目を丸くしました。S様は鉛筆が無造作に置いてあるのを見て、「自宅で手のリハビリにもなったし、良かったら使って。」と色紙を組み合わせて鉛筆立てを作ってきて下さいました。他のご利用者様からも、「実は前から（鉛筆の置き場が味気なくて）気になっていたんだよ。いい鉛筆立てが出来たね！」と大好評です。最後に、よく折り紙作品を作って持参して下さいましたK様。せっかくの作品をもっとたくさんの方に見ていただきたいと思い、ご本人様と相談して玄関先のコルクボードの飾りとして使わせて頂きました。今では季節や月が変わると新しい物を持参し、自主的に模様替えをして下さっています。

皆様のアイデアやご協力があって「松戸新田」は日々成長が来ています。これからも皆様とともに松戸新田をより良くつくっていかねばと思いますので、皆様からのお声をお寄せ頂ければ幸いです。(坪)

株式会社いきいき舎

ホームページアドレス <http://www.ikiikisya.com/>

〒270-2253 千葉県松戸市日暮 1-1-1 八柱第2ビル6階C号室 TEL047-312-9050/FAX047-312-9053

◆通所介護◆

-生活総合リハビリテーション事業所- -介護依存度の高い方への支援サービス- -認知症支援サービス-

◆デイホームいきいき舎常盤平 ☎047-394-5110/FAX047-394-5111

◆デイホームいきいき舎中和倉 ☎047-309-6532/FAX047-309-6533

-生活期療養支援事業所- -中重度者リハビリ強化型-

◆リハビリ施設いきいき舎北小金 ☎047-712-0321/FAX047-712-0322

◆リハビリ施設いきいき舎松戸二十世紀 ☎047-382-5120/FAX047-382-5121

-セラピストによる短時間リハビリテーション事業所-

◆リハビリテーションいきいき舎牧の原 ☎047-394-7710/FAX047-394-7711

◆リハビリテーションいきいき舎松戸新田 ☎047-308-7001/FAX047-308-7002

◆デイホームいきいき舎中和倉(内) ☎047-309-6532/FAX047-309-6533

◆居宅介護支援事業◆

◆いきいき舎居宅介護支援事業所 ☎047-312-9051/FAX047-312-9053

◆訪問介護◆

◆いきいき舎訪問介護事業所びびっど ☎047-312-9052/FAX047-312-9054

◆サ高住◆

◆サービス付高齢者向け賃貸住宅イハナハウス ☎&FAX047-387-2030



生活総合リハビリテーション いきいき日誌



平成29年10月
121号

今月の笑顔

寒さを吹き飛ばす笑顔



生活総合リハビリ

いきいきサポーター制度

平成30年法改正では自立支援に向けたインセンティブ化(重度化防止等に向けた取組を推進する制度)がされていくと「社会保障審議会・介護給付費分科会」で厚生労働省は説明されています。この改正では「自立支援介護」＝「要介護の改善割合」と限定的報酬評価が予想されています。しかしながら要介護度改善が本当の意味で「生活期(自宅)自立支援」と結びつづらぬ部分があり、人の生活をデジタル化(データ化)して評価することは非常に難しい事を考慮し自立支援介護を追求する必要性を感じています。

ここ数年間私たちはご利用者様の具体的目標達成に向けて取組んで参りました。その中で特技披露(特技を生かす)をして個別機能訓練Ⅱ算定可能なシステム、又デイ卒業しても役割のある生活期を過ごして頂ける“いきいきサポーター制度”を構築して参りました。

まだまだ参加される方は少ない状況ではありますが、右写真のようにご自分の特技を生かして頂けるよう通所6事業所で取組んでいます。

この活動が地域との繋がりや社会参加となり、別の生き甲斐が生まれることを願っております。(村田)



皆さんいきいきサポーター制度を活用下さい。

「最後まで主体的に生きる」ことを支援いたします。

私たちは、次の理念・基本方針に基づき、デイサービスにおいて最善の介護サービスを実践できるよう努力して参ります。

そして皆様に「価値創造型ワクワク感」を共感して頂きます。

I. 運営理念

- 1.ご利用者様の自主性を尊重します。
- 2.デイホームでの生活全てをリハビリとして位置づけます。
- 3.介護・医療依存度の高いご利用者様をはじめ個別ケアを前提とします。

II. 基本方針

- 1.過剰介護をせず、ご利用者様の自主性を尊重し、残存機能の維持・向上・回復のための諸施策を通じてQOLを高め「自立して頂くこと」を目標とします。
- 2.デイホームにおける日常生活全てを社会参加や機能訓練の場であるとの考えに基づき、PT・OT・STによる機能訓練のほか様々なリハビリの仕掛けやアクティビティのプログラムを工夫・提供します。
- 3.ご利用者様一人一人の身体状況に応じた個別な処遇を行います。ご自身でできる事はできる限りご自身で行って頂きますが、介護・医療依存度の高い場合等は、ご利用者様の状況に応じた積極的支援を丁寧に行います。